

事業所名 こどもの発達支援 みるキーン 2(児童発達支援) 支援プログラム（参考様式） 作成日 2025 年 3 月 18 日

法人（事業所）理念		多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的といたします。								
支援方針		国家資格であります言語聴覚士・作業療法士等の専門職を配置して保育士や児童指導員と共に専門性に特化した療育をお子様1人1人に合わせて実施いたします。 発話が気になるお子様や細かい作業が苦手なお子様などへのお悩みや、より成長を促していきたい行動に対して、必要に応じて個別または集団での療育を実施していきます。 『やりたいことができるように、できることがふえるように』を合言葉にのびのびとした自然豊かな環境のもと、「あそび」を通して楽しみながら各々の課題に沿って発育を促します。								
営業時間		9 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）・生活リズムの安定（来所後のルーティン化→活動前での絵カードにて視覚提示）、トイレトレーニング ・構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示） ・SST、ABAなどによる適応的な行動を強化→個別の支援計画によっては頑張り表を用いる可能性もある								
	運動・感覚	・ストレッチ、体操、軽運動・バランスボールでの姿勢保持　・スポーツ(ドッジボール、サッカー、バレー) ・指先トレーニング・ビジョントレーニング ・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動　・感覚過敏用のカームダウン室などの環境設定 ・感覚統合評価と訓練　・個別作業療法訓練								
	認知・行動	・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 ・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成・ブロック遊びによる空間把握の認知形成 ・小集団でのゲームを介した適切な行動の形成、認知の偏りの配慮・感覚、認知の偏りに対するリフレーミング、個別での振り返り ・季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動								
	言語コミュニケーション	・開始のお集まりで今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き・自己紹介、他己紹介　・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化・構造化　・口腔体操　・月の歌の歌唱 ・個別言語聴覚訓練　・援助要請スキルに伴う支援								
	人間関係社会性	・アタッチメント形成（面談で自尊心を高める・認める）・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ　・役割分担のある遊びなどの協同遊び ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動・地域施設などへの社会見学・イベントなどを通じた地域との交流								
家族支援		・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援				移行支援		・具体的な移行や将来的な移行を見据えたこどもの発達の評価・支援 ・移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・親の意向 ・支援方法についての伝達		
地域支援・地域連携		・市町との連携会議、児相介入児に関しては児相と連携。				職員の質の向上		月1回以上の勉強会を実施。全職員を複数チームに分け、療育の質WGを実施している。 毎月、多い時には毎週のステップアップ研修		
主な行事等		月に1回は実施。運動会、ジャガイモ堀り、夏祭り、スイカ割り、防災の日、ハロウィン、芋ほり、クリスマス会、餅つき会、豆まき、お花見など実施予定。								